

詩篇①

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/9/23

詩篇という書物について

- 150篇からなる歌集(詩集ではない!)
 - 本来はメロディーをつけて歌っていた
- 古くはモーセ(90篇),新しくは捕囚後に作られた
 - ダビデ由来の歌が最も多く,73篇ある
- 主には神殿で歌われていたが,大衆歌もあった
 - 「指揮者のために」という表題が55篇についている
 - 「都に上る歌」(120~134篇)は巡礼の歌?
- 今の形にまとめられたのは紀元前3~5世紀
 - 歌い継がれ,編集され,書き記された
 - 第1~5巻にまとめられている

詩篇という書物について

- 賛美, 祈り, 嘆き, 懇願, 悔い改め, 感謝, 礼拝, 知恵など
様々な内容の歌がある
 - 旧約聖書中, もっとも「人間的」な書物である
 - 「賛歌」55, 「マスキール」13, 「ミクタム」6, ほか
- 様々な修辭的技法を用いている
 - アルファベットの歌(最初の文字がアルファベット)
 - 並行法(同義・反意・交差的)
- 捕囚期の挿入句
 - 「どうか、イスラエルの救いが／シオンから起こるように。主が御自分の民、捕われ人を連れ帰られるとき／ヤコブは喜び躍り／イスラエルは喜び祝うであろう。」14:7, 53:7 <ダビデの詩なのに…>

79篇

- 1 【賛歌。アサフの詩。】神よ、異国の民があなたの嗣業を襲い／あなたの聖なる神殿を汚し／エルサレムを瓦礫の山としました。
- 2 あなたの僕らの死体を空の鳥の餌とし／あなたの慈しみに生きた人々の肉を／地の獣らの餌としました。
- 3 彼らは、エルサレムの周囲に／この人々の血を水のように流します。葬る者もありません。
- 4 わたしたちは近隣の民に辱められ／周囲の民に嘲られ、そしられています。
- 5 主よ、いつまで続くのでしょうか。あなたは永久に憤っておられるのでしょうか。あなたの激情は火と燃え続けるのでしょうか。
- 6 御怒りを注いでください／あなたを知ろうとしない異国の民の上に／あなたの御名を呼び求めない国々の上に。
- 7 彼らはヤコブを食いものにし／その住みかを荒廃させました。

- 8 どうか、わたしたちの昔の悪に御心を留めず／御憐れみを速やかに差し向けてください。わたしたちは弱り果てました。
- 9 わたしたちの救いの神よ、わたしたちを助けて／あなたの御名の栄光を輝かせてください。御名のために、わたしたちを救い出し／わたしたちの罪をお赦してください。
- 10 どうして異国の民に言わせてよいでしょうか／「彼らの神はどこにいる」と。あなたの僕らの注ぎ出された血に対する報復を／異国の民の中で、わたしたちが／目の前に見ることができるよう。
- 11 捕われ人の嘆きが御前に届きますように。御腕の力にふさわしく／死に定められている人々を／生き長らえさせてください。
- 12 主よ、近隣の民のふところに／あなたを辱めた彼らの辱めを／七倍にして返してください。
- 13 わたしたちはあなたの民／あなたに養われる羊の群れ。とこしえに、あなたに感謝をささげ／代々に、あなたの栄誉を語り伝えます。

102篇14～23節

- 14 どうか、立ち上がって／シオンを憐れんでください。
恵みのとき、定められたときが来ました。
- 15 あなたの僕らは、シオンの石をどれほど望み／塵を
すら、どれほど慕うことでしょう。
- 16 国々は主の御名を恐れ／地上の王は皆、その栄光
におののくでしょう。
- 17 主はまことにシオンを再建し／栄光のうちに顕現さ
れます。
- 18 主はすべてを喪失した者の祈りを顧み／その祈り
を侮られませんでした。

102篇14～23節

- 19 後の世代のために／このことは書き記されねばならない。「主を賛美するために民は創造された。」
- 20 主はその聖所、高い天から見渡し／大空から地上に目を注ぎ
- 21 捕われ人の呻(うめ)きに耳を傾け／死に定められていた人々を／解き放ってくださいました。
- 22 シオンで主の御名を唱え／エルサレムで主を賛美するために
- 23 諸国の民はひとつに集められ／主に仕えるために／すべての王国は集められます。

85篇1～8節

1【指揮者によって。コラの子の詩。賛歌。】

2 主よ、あなたは御自分の地をお望みになり／ヤコブの捕われ人を連れ帰ってくださいました。

3 御自分の民の罪を赦し／彼らの咎をすべて覆ってくださいました。〔セラ

4 怒りをことごとく取り去り／激しい憤りを静められました。

5 わたしたちの救いの神よ／わたしたちのもとにお帰りください。わたしたちのための苦悩を静めてください。

6 あなたはとこしえにわたしたちを怒り／その怒りを代々に及ぼされるのですか。

7 再びわたしたちに命を得させ／あなたの民があなたによって／喜び祝うようにしてくだらないのですか。

8 主よ、慈しみをわたしたちに示し／わたしたちをお救いください。

126篇

- 1 【都に上る歌。】主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて／わたしたちは夢を見ている人のようになった。
- 2 そのときには、わたしたちの口に笑いが／舌に喜びの歌が満ちるであろう。そのときには、国々も言うであろう／「主はこの人々に、大きな業を成し遂げられた」と。
- 3 主よ、わたしたちのために／大きな業を成し遂げてください。わたしたちは喜び祝うでしょう。
- 4 主よ、ネゲブに川の流れを導くかのように／わたしたちの捕われ人を連れ帰ってください。
- 5 涙と共に種を蒔く人は／喜びの歌と共に刈り入れる。
- 6 種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は／束ねた穂を背負い／喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

捕囚期の詩篇に見る信仰

- すべてを失ったときに生まれた主への純粹な信仰
 - わたしたちの救いの神よ、わたしたちを助けて／あなたの御名の栄光を輝かせてください79:9
- 自分の罪に気づき、悔い改める信仰
 - どうか、わたしたちの昔の悪に御心を留めず／御憐れみを速やかに差し向けてください79:8
- 主なる神のあわれみと赦しを信じる信仰
 - 主はすべてを喪失した者の祈りを顧み／その祈りを侮られませんでした。102:18
 - 御自分の民の罪を赦し／彼らの咎をすべて覆ってくださいました。 85:3

捕囚によって学んだ真理

「涙と共に種を蒔く人は／喜びの歌と共に刈り入れる。
種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は／束ねた穂を背負い／喜びの歌をうたいながら帰ってくる。」

飢饉に襲われ、日々の糧にも事欠きながらも、来るべき年の収穫を願いつつ、種を蒔く農夫の姿

主なる神はそのような人に目を注ぎ、豊かな実りをもたらして下さる

エルサレムを失い、祖国を離れ、明日の命も分からない切羽詰まった捕囚民の姿

主なる神は彼らをあわれみ、祖国に帰らせて下さる